

# 市民入館料が無料化されます。

平成16年10月1日から3か年限定

2006年までに女神大橋をはじめ、出島復元（第二期工事）歴史文化博物館（仮称）、長崎県美術館（仮称）、長崎水辺の森公園、長崎自動車道市内延伸、出島パイパスなどの大型施設が完成します。これを機に、長崎市では、長崎の街が有する魅力、豊富な観光資源を活かした新しい取り組みによる本市への観光客数を増加させるための仕掛けを検討しています。

今回この仕掛けに向けて、本市の歴史・文化・観光施設等をまず、より多くの市民に訪れていただき、本市の文化・伝統及び歴史等に対する理解を深め、市民一人ひとりが「長崎のよさ」の情報発信者として市外・県外に宣伝し、観光振興につなげていくため、期間限定による施設の市民入館料等の無料化を左記の表の内容で実施することとなっています。

## 1. 実施内容

	施設	現行入館料 (大人の場合)	期間限定入館料 (大人・小人共)
①	グラバー園	600円	無料
②	出島史料館	300円	無料
③	古写真・埋蔵資料館	100円	無料
④	べっ甲工芸館	100円	無料
⑤	旧香港上海銀行 長崎支店記念館	100円	無料
⑥	野口彌太郎記念美術館	100円	無料
⑦	須加五々道美術館	100円	無料
⑧	中の茶屋（清水崑展示館）	100円	無料
⑨	市立博物館	100円	無料
⑩	シーボルト記念館	100円	無料
⑪	永井隆記念館	100円	無料
⑫	原爆資料館	200円	無料
⑬	科学館	400円	中学生以下のみ優遇措置 ・夏休み期間中1回限り無料 ・春休み期間中1回限り無料 ・冬休み期間中1回限り無料
⑭	ペンギン水族館	500円	
⑮	ロープウェイ	700円(片道)	現行通り
⑯	スカイウェイ	300円(片道)	現行通り

## 2. 実施期間

平成16年10月1日から平成19年9月30日までの3年間

## 3. 市民であることの確認方法

市民カード、運転免許証、老人福祉カード、健康保険被保険者証、生徒手帳など

## 編集後記

◆三寒四温で日一日暖かくなり、草木も活々と新たな活力が漲ってくる季節となりました。桜前線も徐々に北上し、日本列島が春爛漫となり、それとともに景気も回復するといったのですが…。

この時期、異動などで何かと慌ただしい時期で、飲む機会も増えますが「腹も身の内」といいます。暴飲暴食は病の元です。また、「腹八分目に医者要らず」ともいいます。自分の健康は自分で守りましょう。

さて、2隻目の大型客船「サファリア・プリンセス」は今、香焼工場のRドックで建造中ですが、4月17日に出張し長崎工場の向島岸壁に係岸し、その後試走を行い、5月27日に引き渡しの予定です。日夜関係者のみなさんの懸命な努力により、もうひと踏ん張りのところまで仕上がっています。これからが正念場です。

ご相談はお気軽に！

長崎市議会議員  
**いづわ清隆**  
長崎市女の都1丁目1444-13  
自 宅 ☎(844)9599  
生活相談室 ☎(861)1985



この用紙は再生紙を使用しています。

## やさしい街づくり！元気な長崎！

長崎市議会議員



**いづわ清隆** だより 第6号

平成16年4月 発行責任者：馬場 尚之 長崎市水の浦1の1 TEL861-6032



桜の花も咲きそろい、おだやかな季節となりましたが、皆様におかれましては益々ご健勝にて、ご活躍の事とお慶び申し上げます。

私も長崎市議会議員となり、皆様方のご支援を賜り、早いもので1年になるうとしています。

さて、平成16年度の予算を審議する定例議会が3月2日より開催され、国が進めている「三位一体の改革」により、長崎市の歳入は約40億円が減額され、市税収入も3年連続で500億円を割るなど、長崎市の財政は非常に厳しい状況となっています。

このような状況を打破する為には、徹底したスクラップアンドビルドを行い、市民の方々へ生きた税金の活用をしなければなりませんので今後、議会の中で意見反映をしていきたいと思えます。

市議会も新年度に伴い委員会の改選があり、私も常任委員会は総務委員会、特別委員会は斜面地・中心市街地委員会の副委員長となりました。

また、3月議会では2回目の一般質問の機会を頂き3月11日に登壇し、市政に対する思いを市民の代弁者として質疑を交わしました。今回の経験を生かし、市民・地域皆さんの声を市政に反映し、本当に長崎に住んで良かったと実感できるような街づくりに向けて議員活動を邁進して行く所存であります。

今後とものご指導・ご支援をよろしくお願いたします。

# 3月議会開かれる!

平成16年3月定例議会は、3月2日に開会し、24日まで23日間開催されました。

本3月議会は、長崎振興策の今後の方針をまとめた「観光2006アクションプラン」などを盛り込んだ総額約1,946億円の2004年度一般会計予算案など85議案を原案通り可決・同意されました。

また、一般質問には、民主・市民クラブより川下勝己議員・野口達也議員・五輪清隆議員の3名が立ちました。

## 主な質問要旨 (抜粋)

### 環境行政について

【質問】ゴミステーションの設置条件と「燃やせるごみ」のステーション設置だけが軽自動車が入る地域は設置できるようになっていくが、なぜ「燃やせないごみ」のステーションの設置はできないのか。

【答弁】ごみステーションの設置については、ごみ収集車が横付けでき、駐車する際に支障にならない場所で、土地の所有者および隣接者の承諾が得られる場所を選定していただいています。

「燃やせるごみ」は、「燃やせないごみ」



滑石団地3期工事完成予想

市もあり、全国の中核都市の平均費用は48万円となりますが、本市の56万円が妥当なものか市の職員と委託先の都市整備公社にて現場で確認しながら、入居にあたって生活に支障がない範囲・必要でない修繕項目がないかなど、施工内容・施工方法の見直しをすることにより費用の縮減ができないかなど検討を重ねた結果、平均38万円で空き家修繕を実施することができました。

今後も、厳しい財政状況の中、入居者に迷惑をかけない範囲で、縮減できないか検討していきます。

【質問】14年度の退去者338世帯のうち、浴槽・風呂釜が設置されていないか

に比較して重量があり、また、衛生的な問題から各家庭に長期間保管できない、ごみを排出する回数も多いなどの事情から、燃やせるごみに限定しています。

また、職員配置の効率化が求められる中、ごみ収集の作業効率を勘案しますと、燃やせるごみ以外のごみを新たにステーションを設置するには困難であると考えています。



「燃やせない」ごみステーション

【質問】ごみの引き出し作業の現況について

【答弁】現在、市内のごみステーションは約12,000箇所のうち、人力による引き出し箇所は約1,300箇所、軽自動車による引き出し箇所は約500箇所です。燃やせないごみは、月1回収集を始めた昭和48年当時から

った団地の入居者戸数、入居者による浴槽・風呂釜の設置および撤去の平均的経費について

【答弁】本市では、昭和55年以前に建設された市営住宅3,504戸については、建設当時は浴槽の設置義務もなく、国庫補助の対象にもなっていないことから、浴槽・風呂釜は設置されていません。当該住宅の入居者の退去により、新たに入居者募集を実施する際は浴槽・風呂釜は入居者負担になることを周知して、公募をおこなっています。

平成14年度の退去者338世帯のうち、浴槽・風呂釜が設置されていないか団地の入居者世帯は166戸でありました。

入居者が浴槽・風呂釜を設置した場合の費用は、大きさや種類によって異なりますが、10万円から15万円程度であります。

退去にあたって撤去する場合は1・5万円から2万円の費用がかかっています。

【再質問】入居者・退去者の経費軽減策として、入居年数・使用程度などで判断し、退去者からの無償提供ができたら、次の入居者のために有効活用してよいのではないかと。

【答弁】入居される方の負担軽減・資源の再利用面からも、問題の認識はしているが次の入居者が利用を希望しな

燃やせるごみと違い、指定されたポリ袋を使用せず、箱や指定していない袋にて野積み状態でごみステーションに排出しており、収集の効率化が図られなかったこと、また、収集日も月1回と少なくごみ出しの負担が小さかったことから、引き出し作業による収集を行っていませんでした。

【再質問】「燃やせないごみ」を自宅からステーションまで、約1キロメートル近く運んでいる地域もあるのに、少子高齢化対策として検討してよいのではないかと。

【答弁】2005年4月から市行政改革大綱の実施に伴い、全市的なごみ収集体制の中で、ステーションの問題や収集曜日なども検討したい。



い場合やすぐに故障や破損した場合、その修繕費用はどうするかなどの問題も考えられます。

しかし、他都市でもこのような状況を踏まえ、使用した期間を限定して退去に撤去しなくても良いという取り扱いをしている都市もありますので今後、研究していきます。

【質問】現在、建て替え中の滑石市営住宅は豪華すぎるのではないかとの声もあるが、建設者としての考え方について

【答弁】滑石地区は、団地開発後30年を経過しつつあった平成3年度から、県・市・住宅供給公社において地区の再生計画が検討され、平成8年度には、公的住宅団地の建替による良質な市街地住宅の供給と合わせて、都市デザインの観点から基本方針として、滑石地区住宅市街地総合整備事業の大臣承認を受けています。

平成9年度には長崎市滑石地区住宅市街地総合整備事業デザインガイドの公的住宅もデザインの統一を図ることが提唱されております。

滑石地区はまとまった敷地の大型団地でいくつもの住棟を配置し、植栽や道路沿いをオープン化され、周辺の環境や景観に配慮していることから、大規模でありながらゆとりがある建物に見えます。このことが、豪華な建物と感ずる要因と考えられます。

### 市営住宅について

【質問】公営住宅ストック総合活用計画の進捗について

【答弁】市では平成16年3月現在、54団地・7,368戸の市営住宅を管理しています。これらの市営住宅ストックを「長期にわたり良質なストックとして維持・管理する」を基本に「長崎市公営住宅ストック総合活用計画」を平成14年度から23年度の10年間の計画を平成13年度に策定しました。

期間内の目標活用戸数は、建替戸数(850戸) 全面的改善(1,200戸) 戸別個別改善(505戸) を掲げています。前期計画期間の建替は、現在、滑石団地の2期・3期分の326戸を建築しています。

全面的改善については、多額な費用・入居者の工事期間の移転問題など費用対効果の面から事業化にはいたっていません。

個別改善については、安全性確保のため外壁改修工事など今年度まで122戸をおこなっています。

【質問】本市が負担する空き家の修繕費は、他都市と比較して高いのではないのか、修繕費の見直しは図っているのか。

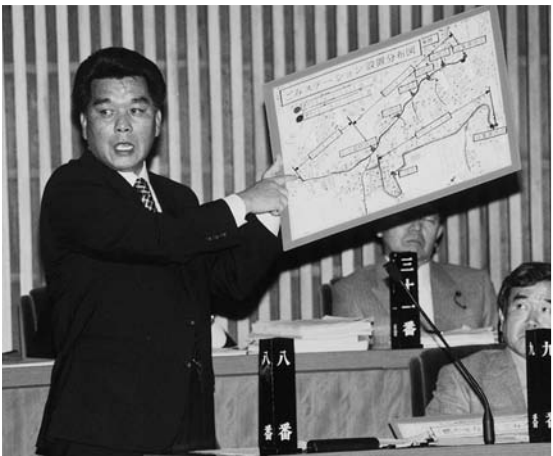
【答弁】本市の空き家修繕費は、平成14年度決算で1戸あたり約56万円かかっています。他都市の修繕費は10万円程度から100万円以上かかっている

公営住宅の整備については、今後ともコスト縮減を図りながら地域の環境や景観に配慮していきます。

【質問】市営住宅における家賃の未収金対策はどのようにおこなっているのか。

【答弁】家賃の未収金対策については、個々の滞納者の世帯構成・収入・滞納理由など、異なっていることから、滞納相談の中で、分割納付や家賃の減免を行ったり、生活保護手当てが受けられないか、福祉部局と図りながら行っています。

悪質な滞納者に対しては、裁判上の手続きを取り訴訟・即決和解などにより建物明け渡しの強制執行を実施し、毎年、増加していた滞納額も平成12年度の3億円をピークに平成14年度では2億4千万円まで縮減されています。



ボードを使って再質問する